

鳴教かわら版

Narukyo
Kawaraban
Vol.3

鳴教大 消費者教育推進プロジェクト発足

消費者教育の担い手となる 教員の養成を目指す

7月13日、地域及び本学の消費者教育を推進するために「鳴門教育大学消費者教育推進プロジェクト」を立ち上げました。

本プロジェクトは、プロジェクト総括に大石 雅章副学長（教育・研究担当）、プロジェクトリーダーに坂本 有芳准教授とし、大学教員、附属学校教諭や事務職員など、31人のメンバーで構成され、この日行われた発足式には、金子 消費者庁消費者教育・地方協力課長や小原 徳島県危機管理部長、木下 徳島県教育委員会副教育長が来賓として訪れ、「幅広い教科で消費者教育ができる教員の養成」や「大学生への消費者教育の実施」など、期待を寄せられました。

今後、鳴門教育大学では、消費者教育の担い手となる教員の養成、消費者教育に強い教員養成のためのモデルカリキュラム（鳴教モデル）の作成などを目標に、様々な消費者教育を推進していきます。



消費者教育推進に向け団結する山下学長と金子消費者庁消費者教育・地方協力課長ら

板東 久美子消費者庁長官、 有松生涯学習政策局長らと意見交換

7月19日、板東 久美子消費者庁長官、8月20日、有松 郁子文部科学省生涯学習政策局長、9月12日、川口 康裕消費者庁次長が本学を訪問し、山下学長らと意見交換をされました。

この中で、山下学長は「本学の多くの教員が消費者教育に関連する研究を行っている。徳島県や鳴門市といった地域と協力しながら、消費者教育を進めていきたい。」と抱負を述べました。



(写真上段) 消費者教育について意見を交わす
山下一夫学長と板東久美子前消費者庁長官

(写真下段) 有松 郁子文部科学省生涯学習政策局長(左)
川口 康裕消費者庁次長(右)



日本の教育を世界にとどける！

鳴門教育大学の取組

海外から高く注目される日本型教育

日本の教育は世界で高い注目を集めており、官民協働のオールジャパンで、日本の教育を海外展開していくための取組が始まりました。

平成28年8月2日に開催された「日本型教育の海外展開推進事業キックオフシンポジウム」には、文部科学省のほか、経済産業省、外務省の講演があり、300人を超える大学、企業関係者が参加するなど、新たな展開への大きなうねりと強い期待を感じました。

このシンポジウムでは、大学の取組事例紹介として、本学の香西副学長（国際交流担当）による講演が行われました。



日本型教育の海外展開シンポジウムで講演する
香西副学長（国際交流担当）

鳴門教育大学の特色 “研修のパッケージ化”

鳴門教育大学では、JICA（国際協力機構）と連携し、開発途上国の研修員を延べ37か国500人を受け入れています。

なお、平成27年度は10件の研修を実施しており、同年度のJICAにおける教育関連分野の研修受託数は全国第1位です。

本学の研修の特徴は、①現地調査、②受託研修、③現地フォローアップの一連の流れを一体化し、パッケージ化（鳴門教育大学モデル）していることが特徴です。これにより、対象国のニーズに応じた“痒（かゆ）い所に手が届く”配慮の行き届いた研修を行うことで、質・量ともに高い評価を得ています。

鳴教大グローバル 教員養成プログラム

鳴門教育大学では、学部生、大学院生がグローバルチューター（GT）として、学内でのJICA研修への協力や、外国人研修員のサポートなど、学内にいながら国際協力活動に従事できます。

また、大学間交流協定校への視察や、開発途上国でのフォローアップの補助など、大学での学びを海外で実践する活動は、まさしく日本型教育の海外展開であり、学生にとって自身の存在意義を確認するまたとないチャンスです。

このようなチャンスを活かしたプログラムが本学の強みであるグローバル教員養成プログラムです。

これからも開発途上国の教育力向上に寄与するとともに、国際感覚にあふれ、多様な価値観や文化を許容できる視野を持ったグローバル教員を養成していきます。

鳴門教育大学モデル



現地調査

ニーズ調査の様子



受託研修

模擬授業に協力する
鳴教大生GT



現地フォローアップ

補助する鳴教大生GT

GT・・・グローバルチューター

BPプロジェクト(いじめ防止支援プロジェクト)徳島大会を開催

鳴門教育大学の呼びかけで平成27年4月に発足したBPプロジェクト(宮城教育大学, 上越教育大学, 鳴門教育大学及び福岡教育大学の4大学による協働参加型プロジェクト)の平成28年度第1回徳島大会が8月20日(土)に徳島市内で開催され, 県内外のいじめ問題関係者, 教員, 学生など, 130人が参加しました。

同大会では, いじめ研究の最先端であるピーター・K・スミスの著書「学校におけるいじめ」の翻訳に携わった本学研究者らがシンポジストを務め, 国際的に見たいじめの特徴や, 欧州のいじめ予防・対応策を日本の学校にどう適応させるのかなどについて発表があり, 参加者は熱心に聞き入っていました。

参加者からは「現場のいじめ事象で悩み混乱していたが, 多くの示唆を得ることができた」, 「いじめというまさに今日の喫緊課題の解決方法の糸口が見えた」といった声が聞かれました。

BPプロジェクトでは, 平成29年2月12日(日)に, 東京でのシンポジウム開催が予定されています。



(左から)シンポジストの葛西教授, 池田准教授, 司会の小坂教授



「いじめと疑わしいものには全組織的対応が重要」
総括の森田特任教授



会場風景

拡がるいじめ防止支援の輪
(公社)日本PTA全国協議会が,
BPプロジェクトの協力団体に加わりました。

附属図書館で野地元鳴門教育大学長(第3代)の追悼企画展示を開催

平成28年5月に御逝去された野地潤家(のじじゅんや)元学長(第3代)の追悼展示会を開催しました。

展示会では, 野地元学長が生前寄贈された野地潤家文庫から厳選した御自身の著述業績, 及び収集された図書・資料の展示や, 村井万里子鳴教大教授による展示解説などが行われました。

追悼展示会期間中には, 野地潤家先生の長男である野地澄晴(すみはれ)徳島大学長をはじめ, 大学教職員, 国語教育関係者, 一般市民の方などが多数来館し, 改めて野地潤家先生の偉大な業績を確認するとともに, 故人を偲びました。



山下学長と追悼展示会に来館された野地澄晴徳島大学長(右)

徳島県はぐくみ支援企業に認証されました

徳島県から「子育てにやさしい職場環境づくり」に積極的に取り組む企業等として, 「徳島県はぐくみ支援企業」に認証されました。

本学では「女性活躍推進法」及び「次世代育成支援対策推進法」に基づき本学における「行動計画」を策定し, より一層女性の活躍を推進するとともに, 仕事と家庭との両立ができるように支援しています。

これからも男女共同参画社会の実現に向けての様々な取組を推進していきます。



認証書を手にする大石理事
(男女共同参画推進室長)

おめでとうございます



高橋 啓
元鳴門教育大学長(第5代)
平成28年春の叙勲
瑞宝中綬章受章



栗原 慶
准教授(芸術系コース(美術))
第63回日本伝統工芸展
(陶芸部門)入選

飯泉嘉門徳島県知事が鳴門教育大学で特別講演

7月25日、学部授業科目「教職論」の中で、飯泉 嘉門徳島県知事による「『地方創生』本格展開！～新たな主権者と共に語る～」と題した特別講演が開催されました。この日の授業は一般に公開されていたこともあり、本学学生・院生のほか、高校生など多数の参加者が聴講しました。

飯泉知事は冒頭、「人口減少や東京一極集中問題などの問題がある。先般の参議院通常選挙から、選挙権が18歳からになった。新たな主権者の皆さん方、一緒に地方創生をしっかりと盛り上げていきましょう」と挨拶。その後、防災や教育分野で現在徳島県が行っている施策や今後の方向性について、鳴門教育大学との連携を交えて説明し、将来の教育現場を担う学生に熱いエールを送られました。

参加者からは「徳島は住みやすく、こんなに魅力があることを改めて感じた」、「徳島県が英語教育先進県であることや、学校現場の教員にも英語力が求められていることを実感できた」などの声が上がりました。



徳島の魅力を強く語る飯泉知事

附属図書館で「暮しの手帖フェア」を開催

NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」に登場する雑誌の題材となった「暮しの手帖」。本学附属図書館は、1948年発行の創刊号から約40年分の同雑誌を所蔵しており、初期の「美しい暮しの手帖」を含む約30冊を1ヶ月間、企画展示しました。

展示期間中には、学内外から約600人が会場を訪れ、雑誌を手に取り、当時を振り返るとともに、大学の存在が身近に感じられ、懐かしい資料に触れることができたことと好評を得ました。

このことは、社会の消費者問題に対する関心の高さを示しており、本学が推進する「鳴門教育大学消費者教育推進プロジェクト」への期待の高さと社会的使命を再確認しました。

※暮しの手帖・・・総合生活雑誌。商品テストは大きな反響を呼んだ。



展示された「暮しの手帖」に読み入る来場者

平成29年度入試関係日程

・学校教育学部

選抜方法	出願期間	試験日	合格者発表日
推薦入試Ⅰ型	11月1日(火)～11月4日(金)	11月20日(日)	11月25日(金)
推薦入試Ⅱ型	12月12日(月)～12月16日(金)	1月24日(火)	2月6日(月)
前期日程試験	1月23日(月)～2月1日(水)	2月25日(土) ～26日(日)	3月6日(月)
後期日程試験	1月23日(月)～2月1日(水)	3月12日(日)	3月22日(水)

・大学院学校教育研究科

選抜方法	出願期間	試験日	合格者発表日
中期選抜試験	10月26日(水)～11月4日(金)	11月26日(土)	12月9日(金)
後期選抜試験	2月2日(木)～2月9日(木)	3月4日(土)	3月17日(金)

記念品、
お土産にぜひ！

大学会館2F UZUショップにて
鳴教大グッズ販売開始しました

- ・タカシ(黒) 300円
- ・タカシ(白) 250円
- ・バタメ 250円
- ・ホーレン 150円
- ・クリアホルダー 170円